安富町魅力発信紙

やすとみびより

vol.10

三寒四温の候、うっすら雪化粧の
ふるさとかかしを訪ねた。

特大最終号!



LOOK!
やすとみびより
Website & Instagram

Website　Instagram

2022年3月発行
発行者：地域おこし協力隊
臼井 千夏

※取材時は感染症対策に万全を期しております。取材をさせて頂く皆様には撮影時の一瞬のみマスクを外して頂きました。

奥播磨かかしの里

奥播磨かかしの里は、安富町関地区にあります。過疎化や高齢化が進んだ集落の村おこしとして、約130体のかかし達が集落内の様々な場所に佇み昔の暮らしを再現しています。"ふるさとかかし"と呼ばれるそのかかし達は、田畑に立てられた一般的なかかしとは異なり、背格好は人間そっくりで豊かな表情が特徴です。今回はかかし製作者の岡上正人さんにお話を伺いました。

奥播磨かかしの里の始まりは2011年のこと。そのきっかけとなったのは、岡上さんが会社員時代に訪れた徳島県三好市東祖谷で見た人間そっくりなかかし達でした。その時に「郷里の関地区なら"かかしの里"として村おこしができる！」と直感されたそうです。それからは、独学でかかしの材料選びや構造など、試行錯誤を重ねて現在の製作方法に辿り着きました。これまでに作ったかかしの数は約460体にも上ります。「奥播磨かかしの里のコンセプトは、かかしで日本のふるさとの原風景を再現することです。集落内の古民家や小屋、畑など置く場所に合わせてイメージを膨らませ、かかしを製作しています。お越しを頂いた方々にも『遠い昔を思い出す』『心が癒される』と喜んで頂いています」と岡上さんがお話ししてくれました。









▲写真上：かかし製作をする岡上さん。この日は、子供のかかしを製作中で骨組みに新聞紙を取り付ける作業をされていました。▲写真左下：岡上さんの実家横にあるふるさとかかし工房。ここで多くのかかし達が生み出されています。工房の軒先にも沢山のかかし達が並んでいました。▲写真下中央：製作途中のかかし。かかし製作はまず頭部(顔)を作り、これに胴体や手足の骨組みとなる木材や針金を取り付け、その骨組みに新聞紙で肉付けをします。そして、ラップやテープで補強と防水加工が施され、最後に洋服を着せます。かかし1体が完成するまでに4～5日はかかるそうです。▲写真右下：工房の壁面にずらりと並ぶかかしの顔。よく見ると老若男女様々な顔がありました。

「かかし製作で心掛けていることは、"面倒でも手抜きはしない"という事です。特に顔を作るときは、目や眉毛、口などの位置が数ミリ違うだけで表情が変わってくるので、まち針で何度もパーツを微調整しながら縫い付けて、表情にこだわって製作をしています」と岡上さんがお話ししてくれました。









▲写真上：以前は集落の倉庫だった場所を活用したかかしの教室。子供達ひとりひとりの表情や格好がとてもコミカル。▲写真左下：奥播磨かかしの里の入り口。里山や古民家を背景に佇むかかし達。この景観が郷愁を誘います。▲写真下中央：古民家を活用したふるさとかかしギャラリー。かかし家族の団らんの様子が心を和ませてくれます。取材時の2月はかかしの里のひな祭りが開催中で、ひな祭り仕様になっており華やかな世界が広がっていました。▲写真右下：荷車を引く老夫婦かかし。思わず声をかけたくなります。









奥播磨かかしの里のかかし達は、集落内の常設展示はもちろんのこと兵庫県内外の様々な公共施設や店舗に約210体を設置、イベント等での貸出用に約120体を保管し地域振興やPR、人々の交流にも一役買ってきました。

▲写真左上：夢前町で開催された菜の花プロジェクトでの祈願祭の様子。(2021年2月)▲写真右上：ズラリと並ぶ観光バス。都会からのバスツアーもやってくるようになったそうです。〔写真提供：岡上正人氏〕▲写真左下：2021年10月から始まった日本旅行アメリカとの提携による海外からのかかしサポートプロジェクトのサポーター登録かかし達。▲写真右下：第10回ふるさとかかしサミット会場での神姫バスによる"かかしバス"の様子。(2021年11月)

「当初は、見に来られた方々に喜んでもらえることが嬉しく、少しでも集落に賑わいをという気持ちでした。しかし、最近ではそれに加えて様々なイベントやプロジェクトを通してかかしの里へ何度も足を運んでもらえるようリピーターを増やす工夫をしたり、街に住む人や企業・団体との交流をすることで、賑わいづくりからもう一歩進んだ活動をしていきたいと思っています」と岡上さんが語ってくれました。

information

奥播磨かかしの里

場所：姫路市安富町関集落一帯

※ナビでは「グリーンステーション鹿ケ壺」を目指されるとスムーズに着きます。

奥播磨かかしの里の活動や最新情報はWebsiteやFacebookを御覧ください。

furusato-kakashi.net

Facebook

地域おこし協力隊 臼井千夏のこれまでのあゆみ

兵庫県版地域おこし協力隊として、2020年5月より約2年間に渡り活動してきました。そして、2022年3月末日にて任期終了となります。このページでは、これまでの活動の一部を年表形式でご紹介します。ここに掲載した以外にも、地域行事やイベント等、たくさんのコトに参加をさせて頂きました♪

2020

- 5月 ● 地域おこし協力隊 活動開始
- 8月 ● 360°プロジェクト始動
  - Instagramアカウント開設 ●
- 9月 ● やすとみびより Vol.1発行



- 10月 ● 活動内容がテレビ放送される（NHK神戸放送局）
  - Website やすとみびより公開 ●
  - 活動内容が各社新聞に掲載される ●



- 11月 ● 奥播磨かかしの里 野外写真展へ出展
- 12月 ● 松原京極かかし商店街開催
  - やすとみびより Vol.2＆Vol.3 同時発行 ●







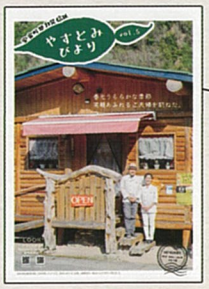
2021



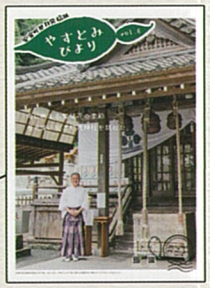
- 2月
  - 夢前ゆめ街道づくり 菜の花プロジェクト参加 ●



- 3月 ● やすとみびより Vol.4発行



- 5月
  - やすとみびより Vol.5発行 ●



- 7月 ● やすとみびより Vol.6発行
- 9月 ● 安富パーキングエリア(下り)に特大安富町見どころマップを設置
  - やすとみびより Vol.7発行 ●



- ● A3版安富町見どころマップ完成



- 11月 ● 第11回ふるさとかかしサミット参加
  - やすとみびより Vol.8発行 ●



- 12月 ● グッピーこずえのキャンプめし教室参加





2022



- 1月 ● やすとみびより Vol.9発行
  - 安富北小学校 こども写真教室開催 ●



- 2月
  - 納屋町かかし商店街開催 ●



- 3月 ● やすとみびより Vol.10発行
  - 360°プロジェクト累計60万Viewを達成 ●
  - Websiteやすとみびより累計1万PVを達成 ●



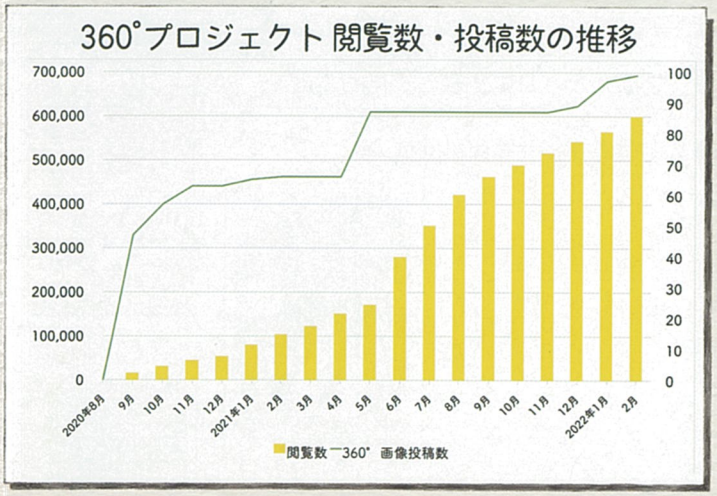
任期終了

安富町の魅力を発信！
地域おこし協力隊の様々な取り組み

活動を開始してからの約2年間、様々な切り口で安富町の魅力を発信してきました。
このページでは主な3つの取り組みについてご紹介します。

360°プロジェクト

360°プロジェクトとは、安富町の自然や名勝、お店などを360°カメラを用いて撮影し、撮影した画像をGoogle Mapに掲載していくというプロジェクトです。
これまで1年6ヶ月で99枚の画像を投稿し、累計閲覧数は61万回以上と沢山の方にご覧を頂いています。



360°画像をGoogleMap上に投稿することで、維持費等が発生することなく永続的なPRにつながることを目指したこのプロジェクト。
これからもGoogleMapで安富町を見られた方々へのPRに繋がっていくことができれば幸いです。

←360°画像はこちらから

Websiteやすとみびより

安富町外の方が「安富町に行ってみたいけど、どんなところ？」と思ってインターネットで検索をされた時に、包括的な情報提供ができるようにと考えて制作をしたWebsiteやすとみびより。
写真と文章で安富町の見どころを紹介した見どころページをはじめ、四季折々の魅力を写真で紹介するギャラリー、安富町魅力発信紙の内容をベースに紙面では載せきれなかった写真を盛込み再編集をしたWebマガジンなど、随時更新しながら情報発信をしてきました。

Website開設後1年4ヶ月で
累計閲覧数 10,000PV（ページビュー） を達成

Websiteやすとみびよりのページの中で1番目に閲覧回数が多かったのは"見どころ"。2番目は"ギャラリー"。そして3番目は"Webマガジン"でした。
また、各大手検索サイトにて「安富町」「安富町 観光」といった検索ワードで、検索上位表示を獲得しています。

yasutomibiyori.net

Instagram

安富町の魅力をもっとタイムリーに！という思いから始めたInstagram。イベント情報やおすすめスポット、田舎暮らし体験など、地域おこし協力隊が綴る安富町の日々のことを発信してきました。
これまでの169投稿(3/6現在)の中から人気投稿ベスト5をご紹介します。

1位



ヒメボタル
(2021/7/4投稿)

2位



ヒメボタル
(2021/7/11投稿)

3位



下村酒造店 にごり酒
(2022/1/31投稿)

4位



カニワロ渓谷 清掃活動
(2021/9/11投稿)

5位



安志加茂神社 大干支飾り
(2022/1/1投稿)

Instagram

編集後記

今回のやすとみびよりVol.10 特大最終号では、前半に奥播磨かかしの里を特集しました。こだわりの詰まったかかし製作やかかしを通して広がる様々な活動など、かかし製作者の岡上さんが活動に実直に向き合う姿勢に感銘を受けました。取材にご協力を頂きありがとうございました。
また、後半では2022年3月末日をもって任期終了となる兵庫県版地域おこし協力隊 臼井千夏の約2年間の主な活動内容と実績について、データや写真を交えてご紹介しました。まずは安富町を「よく知ってもらう！」ということを一番の目標として、安富町の自然や特産品である柚子、名所や事業者様など安富町の既存価値を掘り下げて最大限化する、ということを目指して取り組みました。また、自身の写真家としての視点で魅力発信紙やWebsite、SNSなど様々な切り口から魅力を発信してきました。安富町の地域活性化に少しでも貢献できたなら幸いに思います。地域おこし協力隊の活動を通して安富町で培った様々な経験は私の生涯にとって大切なものとなりました。最後になりましたが、活動に協力を頂き支えて下さった全ての方々にこの場を借りて厚く御礼を申し上げるとともに、今後とも安富町の益々の発展をお祈り申し上げます。